

認知症サポーターのしるし「オレンジリング」

(中川地区)

～ 認知症対策は「認知症予防」から ～



平成 21 年から地域課題解決の一つとして「認知症サポート事業」に取り組んでいます。平成 21 年から 23 年までは、認知症を正しく理解するため、地域医療に取り組んでいる認知症の専門医から「認知症の理解と地域の見守り」について学びました。

3回の研修で延べ 300 名の地域の皆さんが、認知症支援者の目印となるブレスレット「オレンジリング」の交付を受けています。

4年目は、この研修成果を実践活動としてステップアップしていくため、「認知症の方の介護をされたことがあるご家族の実体験」を聞くセミナーを 70 名参加のもとに行い、その体験談は、想像以上のものでした。

このことから、地域の見守りの難しさを知り、5年目の今年は、認知症にかからないような日常生活を送ることが大切との観点から、認知症研究の第一人者で、作家でもある米山公啓先生を講師に迎え、「認知症の予防」についての講演会を9月5日に実施しました。

参加者の皆さんは、講師の話に熱心に耳を傾け、メモをとる姿も多く見受けられました。認知症サポート事業は、地域の人たちを支えていく活動として期待されています。



(中川地区経営委員会 委員長

こいずみ まさひこ
小泉 正彦さん)

広報よこはま 平成26年12月号より

掲載内容は発行時のものでありますので、現在と内容が異なる場合があります。

問合せ：地域力推進担当

TEL.045-800-2333 FAX.045-800-2505